

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年12月8日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694400021
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	ひだまりの家 こもれび
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈徳辺1656 0995-26 (電話)
自己評価作成日	令和4年10月29日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年11月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ひとりひとりのペースに合わせて、しっかりと意思の確認をしながら日々の生活を支援している。自室にこもって生活することのないように声掛けを行い、輪に入って生活できるように申し合わせている。外出する機会は少なくなったが、季節がわかるように、花や壁紙などで変化をつけている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は幹線道路から少し入った田園に囲まれた静かな場所に、併設する小規模多機能ホームと共に所在している。最近までヤギを飼っていたこともあり、近隣の方が自由に出入りしてヤギに餌を差し入れてくれていたため、馴染みの関係ができています。

コロナ禍以前は事業所主催の夏祭りや花見、敬老会や防災訓練を行う際に地域住民の参加が得られていたが、現在は面会制限をしていることもあり、行事による地域交流は行っていないため、コロナ収束後は地域交流を再開させたい意向である。

現在、外食や外出が難しいため、代わりに楽しめる行事を計画して実施したり、これまで以上に行事食を充実させる等、利用者も調理に参加して楽しめるメニューの工夫に力を入れている。

利用者の支援はケアプランを基に実践していくこととなるが、支援に工夫や繰り返し検討が必要な場合は、ケアプランとは別に「詳細計画書」を作成して重点的に話し合いを繰り返し行い支援に反映させている。具体例を挙げると、治療困難と言われた重度の褥瘡のある利用者を受け入れ、詳細計画書と経過記録により何度もカンファレンスを行い、治療方法を確認等しながら、約4か月で完治するまでに改善させた事例がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自業所の基本的な考え方は、常々振り返りながら、日々取り組んでいる。	理念を実践できているか、現状に即した支援ができているかを職員会議等でこまめに振り返り共有している。また、年度目標についても、十分な話し合いの下で次の目標を設定している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染のため交流は少なくなったが、野菜を届けてくださったりしている。職員は、あいさつ等、交流している。	事業所主催の夏祭りや敬老会、花見等の行事はコロナ感染症拡大に伴い自粛しているが、自治会の清掃活動や集会に参加して地域との交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	交流も少なくなり、発信の機会もなくなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で、集まったの会議は少なくなっていたが、日常の報告や、現状の課題などをあげ、意見交換をしている	コロナ禍の為、書面に代えることが多かったが、感染状況に合わせて実際に会議を開催する等、状況に即して対応している。会議には家族代表や行政職員、民生委員や居宅介護支援事業所のケアマネージャー等も参加して意見交換を行った。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>事業所としては、あまり密な取り組みはないが、法人として連絡や助言を頂くなどして協力を頂いている</p>	<p>行政や地域包括支援センターの職員とは、運営推進会議で顔を合わせるほか、介護関係の書類提出や相談事がある時等に出向いたり電話で助言をもらっている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>「絶対に行わない」を取り決めて、ミーティング等で事例を上げ、振り返りを行い徹底して取り組んでいる</p>	<p>「適正化の為の指針」を備え、3か月毎に適正化委員会を実施しており、利用者の意見や思いを反映させた話し合いを行っている。「ちょっと待って」等、行動を制限させてしまう声掛けについても拘束と捉え、職員会議等で繰り返し確認する等、注意喚起を図っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>「虐待とは？」から議題にして意識づけし、取り組んでいる</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現状での該当はない</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時などで、ていめいに説明し、理解されているかを確認している。改定などは文章で通達している</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時等を利用して、コミュニケーションを取っていたが、機会が減ってきており、今後の課題となっている</p>	<p>家族の意見は面会に来られた時に積極的に話を聞くことで汲み取るほか、写真や動画をLINEを利用して情報発信することで意見や感想をもらっている。また、1か月毎の行事を利用者の笑顔と共にまとめた「こもれび新聞」を送付することで暮らしぶりを詳細に報告している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員には、思いを自由に発言できるような雰囲気を作っており、意見があれば自由に発言していると思う。</p>	<p>職員の意見は朝夕の申し送り時や職員会議で聞き取るほか、管理者はこまめに職員に声を掛けたり、個別の相談に応じたりしている。勤務表作成時は、休みの希望を尋ね、可能な限り叶えられるよう配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>人で不足は深刻であるが、可能な限り、有給取得や休暇取得に努力している。給与については、職員処遇加算等を使い、給与水準のアップに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>適材適所を基準にし、内外の研修の機会も与えている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は進めない。今まで多くの他事業所等を見てきたが、いいところしか言わないし見せない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	個々の状況に応じて担当を決めるなどして、不安や困りごとの解消にあたり、全員で共有できるように、体制を取っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	聞き取れる機会を利用し、しっかりと聞き、あいまいな対応にならないように心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の段階で、他のサービスも含め助言し、利用に至るまでの段取りや、担当者の説明もしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その方のできる事や力量に合わせて日常の全てのことを一緒に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	統一した方向での支援ができるように連絡を取り、情報の共有に努めている。(コロナ禍で電話が中心となっている)		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で達成できていない家を見たいと言う人等、家族の了解を得て、職員で連れて行っている	コロナ禍の為、自由に面会をしたり外出することは難しいが、家族にはLINEで動画を送る等して様子を伝えている。また、家に帰りたと言われる利用者を職員が家まで連れて行き、庭でお茶を飲みながら、しばらくそこで過ごす時間を作ることができた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座る場所等も考慮し、コミュニケーションが取れるように配慮している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	それぞれではあるが、交流が継続して方々もいらっしゃる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	まず聴き、家族からも情報をいただき、表情等の確認をしながら、皆で取り組んでいる	適切に支援できるよう最初に情報を詳細に聞き取るよう努め、入居後も日々の気づきを職員間で共有しながら本人本位の生活が送れるようケアプランとは別に「詳細計画書」を作成して支援に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に関係者から聞き取り、その後も必要に応じて、情報の収集をしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一緒に過ごしてみ、一緒にやってみ、表情や様子を確認しながら判断している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	気づいた事とか日々の出来事は情報の共有をし、支援について意見交換や確認をしている	本人、家族の意向を基にカンファレンスやモニタリングのほか、訪問看護師や主治医の意見も参考にしながらケアプランを作成している。また、状況に応じて「詳細計画書」を作成して個々の課題や支援内容を設定しており、これまでに重度の褥瘡を完治まで導くことにつながられた事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	いろいろな方法を用いて、情報の共有を行い、必要に応じて介護の方向性を決めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	それぞれの希望や必要に応じて、可能な限り取り組んでいる		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現状ではなかなか地域資源の活用は難しい		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に今までのかかりつけ医の継続で支援しており、家族の意向による主治医の変更についても、きちんと継続できるように、情報提供書等を提出し、本人への害がないようにしている	入居前のかかりつけ医を把握し、入居後も職員が受診（検査の時は家族に同行してもらう）を支援している。受診後は必ず家族に受診内容を電話で報告すると共に、職員間でも申し送り時に情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の健康チェックに加え、週い1回の訪問看護とも情報共有し、助言や受診時の協力を得ている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>それぞれの相談員さんと情報交換し（情報提供書の提出）をし、連絡の取れる関係作りをしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>段階に応じた状況の説明を行い、家族の希望等をもとに調整をし、必要に応じて主治医も含め三者の話し合いをしている</p>	<p>入居時に「緊急時における確認書」と「重度化した場合の対応における（看取り）指針」を説明すると共に、状況に応じて「看取り介護における方針」を説明し同意書を交わしている。終末期は利用者の状況について家族や医師を交えて話し合い、最終的な意向を踏まえた上で看取り支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアル等を基に申し合わせている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>訓練等を行っているが、現実になると不安が残る。近隣も高齢になられコロナ禍もあり、今後については再検討が必要</p>	<p>年2回、夜間想定を含む火災訓練を隣接する小規模多機能ホームと合同で実施するほか、職員会議でマニュアルを読み合わせたり、ハザードマップの確認を行う等、机上訓練も実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	行動の前に声掛けを行い、必ず意思確認をするようにしており、声かけも本人に本人に合わせて表現法を申し合わせている	年間研修計画にプライバシー保護や秘密保持に関する研修を組み込み、トイレ誘導時は他の利用者に聞こえないよう促したり、わかりやすい声掛けに気を配る等、個別に対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の好きな事や快い刺激を理解し、支援に繋がるように申し合わせている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のスタッフで、本人に合ったスタッフが中心に関わりあえるようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	限られた物や支援ではあるが、だらしなくならないように、その時々合った身だしなみであるように心がける		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べやすい形で提供をし、楽しみとなるよう、行事食や誕生日などは、好みの物を聞き取り、調理し一緒に楽しんでいる	当日献立を決めるため、いつでも食べたいものを食べることができ、利用後も食器洗いや野菜の皮むき、包丁を使って果物を切り分けてくれる方がいる等、楽しく調理に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	量や形態を個々にし、水分等は本人の好みに変える等して対応し、記録を残し把握している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のうがい 夜のポリデント等の実施		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれの排泄のパターンを把握し、誘導やオムツの選択。本人に負担やトラブルのないように様に検討し実施している	ポータブルトイレを使用する方も日中は基本的にトイレでの排泄を支援している。パットは状況に応じてこまめに使い分けており、夜間は失敗を減らせるようパット交換のタイミングを個々に合わせて対応する等、工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や食事内容の検討なども行い、下剤についても本人の排泄パターンに合うように、又、過度にならないように取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の意向を聞き取り、入る、入らない、湯温等も考慮している	週3～4回の入浴を基本としているが、毎日入浴する方がいたり、湯量も好みに合わせて対応している。また、楽しく入浴できるよう、冬至にゆず湯を提供したり、入浴剤を使用することもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝るタイミング（時間）も本人に合わせて支援している。布団を干したりして、気持ちよくやすめるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬以外の処方の時など、副作用等を確認し、共有し観察を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの意向に沿って、支援できるよう把握し努力している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望も少ないが、外出の機会も少なくなっており、情勢に応じた検討が今後必要	コロナ禍のため、自由に外出することが難しくなったが、屋内に留まる時間が長いとストレスにつながる恐れがあるため、日常的に散歩に出かけたり、敷地内でお茶を飲んだり、食事を摂る等して気分転換を図っている。また、豆まきやハロウィン等の行事の際は職員全員が仮装して場を盛り上げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の支援にてお金を持っていらっしゃる人はいないか、家族と協力して本人の希望に沿って対応している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>自ら電話や手紙をされる方はいないか、必要に応じて声掛けし、一緒に行っている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>密閉した空間にならないように、居間を中心に花を飾ったりして、季節がわかるように飾りつけをしている</p>	<p>フロアの中央部分に食事用のテーブルとソファ、テレビを配置し、居室もフロアに面した造りのため、動線がシンプルで、見守りによる安全確認も行いやすい。また、季節毎の作品を掲示したり、花を飾り季節感に配慮するほか、感染症対策のための換気や加湿、空気清浄器も配置し対応している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ等配置により、その日の体調や気分に対応できるように考えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人持ち込みの物などをきちんと整理整頓し、過ごしやすいようにしている</p>	<p>ベッドとタンス、ハンガーラックが備え付けられるほか、自宅から持ち込まれた仏壇やぬいぐるみ等の馴染みの品を居心地に配慮し自由に配置している。条件が合えば冷蔵庫やテレビの持ち込みも可能である。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>部屋がわかるようにしたり、手すりなどを使い、安全に移動できるように、又その時のその人の状態に応じて、家具の配置を変える等して対応している</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない